

FESTINA LENTE



2021 2月号 HIGHLIGHTS

- 生徒総会が開催されました！
- 「いじめ対策基本方針」(組織図)
- 校内英語ディベート大会が開催！

第36期生徒会

校内英語ディベート大会 英語科主任 牧野佳太

いじめ防止基本方針 校長 児玉洋司

生徒会総会議案書 生徒会担当 伊東英陽

APU・立命館コース 活動報告(1) APU立命館コース主任 廣松大和

1~2月の部活動報告 総務 川元成彦 ほけんしつから 養護教諭 野村めぐみ

APU・立命館コース 活動報告(2) 6-4担任 早川陽子 高校卒業証書授与式のご案内

第12回校内英語ディベート大会

英語科主任 牧野佳太

2/16(火)の6~7時間目に第12回校内英語ディベート大会が行われました。

論題は「High school students should be allowed to do part-time jobs. (高校生にアルバイトを認めるべきか)」でした。

IWATAコース(4-3, 5-3)から2チーム、APUコース(4-4, 5-4)から2チームが選出され、試合は4-3 vs 5-4、4-4 vs 5-3の2試合が行われ、生徒は英語でお互いの主張を述べ合いました。

普段ディベートの授業で、試合経験を積んできていた分、本番では全チームが堂々とした姿で、白熱した議論を見せてくれました。今後もディベートを通して、英語力の向上を図っていきましょう。

<ディベート大会結果>

1位: Ultraman Cosmos
(5-4: 細谷、Shashwat、佐久間、柴田)

2位: FOX
(5-3: 上運天、中丸、宮崎、青山)

3位: San Pedro Sula
(4-3: 篠原、渡邊、マーフィー、松本)

4位: Chocolate
(4-4: 岩田、フレッチャー、嶋岡、小川)

Best Debater: 篠原幸環さん(4-3)

Iwata Secondary School

The 12th English Debate Tournament

第12回英語ディベート大会

Tuesday, February 16, 2021 (14:20-16:45)
2021年、2月16日(火) (14:20-16:45)

Event Program: Final Round

Place: Iwata Secondary School ・ 岩田学園 大講義室

Topic: **Resolved: High school students should be allowed to do part-time jobs.**
論題: 高校生はアルバイトをすることを許可されるべきである。

Team Ultraman Cosmos (5-4) Haseya Yoshimasa, Sakuma Naonori, Shashwat Tawari, Shibata Jun
Team San Pedro Sula (4-3) Watanabe Yukino, Murphy Sakura, Shinohara Sawa, Matsumoto Chisato
Team Fox (5-3) Kamimura Rina, Miyazaki Sora, Nakamura Rika, Aoyama Kenji
Team Chocolate (4-4) Iwata Ryuu, Shimizu Hinaka, Fletcher Julia, Ogawa Yuka

Opening remarks and rule explanation

14:30-15:00 1st match: Team Ultraman Cosmos (5-4) v. Team San Pedro Sula (4-3)
affirmative negative

15:30-16:00 2nd match: Team Fox (5-3) v. Team Chocolate (4-4)
affirmative negative

16:10- final judging

16:30-16:35 award ceremony and closing



↑ 英語ディベート大会の様子



学園だより

「いじめ防止基本方針」と対応組織図について

校長 児玉洋司

私立岩田中学校・高等学校 いじめ防止基本方針

平成26年10月1日制定
平成30年7月10日改訂
令和2年4月1日改訂

1. 目的

この基本方針は、本校におけるいじめ防止に係る基本理念および責務を明らかにするとともに、いじめ防止および解決を図るための基本となる事項を定めることにより、生徒が安心して生活し、学ぶことができる環境をつくることを目的とする。

2. 基本理念

- (1) 本校の教育方針である「社会に有為な人材の育成」「きめ細かく、一人ひとりを大切にする教育」「自ら学ぶ姿勢を示す意欲的な人材の育成」「公平と正義を重んじ、礼儀やマナーなどの躰を保護者と共に考える教育」を実践し、楽しく安心して中学・高校生活を送り、お互いの人格と権利を尊重する成熟した社会人へと成長できる環境作りの一環として、主体的にいじめ問題に取り組む。
- (2) 本校は、日々の教育活動を通して、いじめが人間の尊厳を踏みにじり、基本的人権を侵害する行為であることを生徒に理解させると共に、いじめは人間として絶対に許されるべき行為ではないとの強い認識を持たせることに努める。

3. 「思いやりや助け合いの心を持って行動できる」生徒を育てる取り組み

- (1) 人権教育の推進
本校の教育の方針に基づく日々の教育活動をはじめ、各教科の授業、生徒会活動、ボランティア活動、総合的な学習の時間、ホームルーム活動、人権講演会、学校行事等に人権教育の視点を位置づけ、いのちの大切さを理解すると共に、他者を認めやさしい配慮ができる生徒の育成をする。
- (2) 体験活動の推進
様々な学校行事と本校が従来推進してきたボランティア活動などを通して、生徒同士がお互いをよく知ると共に、相互扶助の心を育成する。
- (3) 特別活動の充実
集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を構築する力を育むことを目的と

して、ホームルーム活動、生徒会活動、部活動、キャリア教育、その他の学校行事の指導の充実を図る。

4. いじめの未然防止のための取り組み

- (1) いじめ対策委員会
いじめを未然に防ぐための指導方法や対策を協議するために、次の機能を担う「いじめ対策委員会」を設置し、必要に応じて開催する。
(構成員) 校長、教頭、生徒指導主任、人権学習担当、寮監長
(開催) 年1回召集し、必要に応じて校長が臨時に召集する。
(活動) ・いじめ問題対応の年間計画の作成
・校内のいじめの現状把握と指導方針・対策の決定
・学校におけるいじめ問題への取り組みの点検
- (2) 授業改善
研究授業、教員研修、授業評価アンケート等を通して、生徒にとって楽しくてわかる授業の実践に努め、生徒の学ぶ意欲と自己有用感を高める。
- (3) 教育相談体制の充実
朝終礼、ホームルーム活動、授業等において、担任および教科担当が生徒の小さな変化にも気づくことができるよう常に細心の注意を払う努力をする。また、定期的にクラス担任は個別面談を行い、人間関係での悩み等を聞き取ると同時に、養護教諭や人権学習担当との連携協力を図り、適切な助言やクラス全体への働きかけができるよう努める。
- (4) いじめの起きない学校風土づくり
いじめは人間として絶対に許されないことを日々の学校生活を通して訴え続け、生徒が安心して学校生活を送れる環境作りに努める。
- (5) 生徒への啓発
いじめに関する注意喚起を機会あるごとに行うと同時に、生徒会を中心として生徒自らがいじめは絶対に許されない行為であるという意識を高める活動を推進していく。また、生徒だけではなく保護者にもSNS等インターネット上でのいじめに関する現状と対策について外部講師による講演会を実施していじめ防止への理解と協力を求める。
- (6) コミュニケーション能力の育成
アサーティブな対応ができる生徒を育て

る。

「相手のことを思いやる大切さ」「自分の気持ちを伝える大切さ」を認め、それを行動化できる生徒を育成することを人権教育の目標に掲げる。

5. いじめの早期発見のための取り組み

- (1) 積極的ないじめの認知
朝終礼、ホームルーム活動、授業等で生徒の表情やしぐさをきめ細かく観察すると共に、わずかな変化に対してもいじめの兆候ではないかとの疑いを持ち、教育相談や養護教諭、スクールカウンセラーと連携しながら積極的にいじめを認知するよう努める。
- (2) 自己チェックシステムの活用
生徒が定期的に自分の生活を振り返るための自己チェックを行い、それをクラス担任が確認することにより、いじめ等の早期発見に努める。
- (3) アンケートの実施
定期的にいじめ等の実態調査を行い、問題の早期発見に努める。
- (4) 保護者との連携
日頃から担任と保護者との連絡を密に行い、保護者がどんな些細なことでも担任に相談できる環境作りに努める。また、量販店や駅などの関係機関との連携を進め、地域での生徒の様子を把握する。さらに、担任以外にも養護教諭、スクールカウンセラーと相談できる旨を周知し、問題の早期解決を図る。
- (5) 外部機関との連携
大分中央警察署や大分県こころとからだの相談支援センター等の外部機関と定期的に情報交換する中で、学校外におけるいじめ等問題行動の早期発見に努める。

6. いじめの早期解決に向けた取り組み

- (1) いじめ調査・サポート委員会
いじめが起きた時、設置し、委員は速やかに実態を調査し、協議を重ね問題解決に向けて計画の立案と適切な対応により、被害生徒を守り通す。一方、加害生徒に対しては教育的配慮の下、毅然とした態度で指導に当たる。
(構成員) 生徒指導主任、人権学習担当、養護教諭、スクールカウンセラー、当該学年主任、当該学級担任、当該教科担任、当該部活動顧問等
(活動)
・いじめの実態調査



- ・当該いじめ事案の対応方針の決定
- ・当該いじめ事案の対応経過確認および対応方針の修正

(2) 被害生徒・加害生徒への迅速な対応

複数の関係者からの情報収集および事実確認をした上で、被害生徒の安全を最優先に考え、加害生徒に対しては毅然とした態度で指導に当たる。

被害生徒に対して、継続的なカウンセリングを行うなどメンタル面のサポートを十分に行い、一日も早く安心して学校生活を送れるように努める。

加害生徒に対して、いじめに至った背景等をカウンセリング等により聞き取り、本生徒の立ち直りと再発防止に努める。

(3) 保護者との連携

被害生徒および加害生徒の保護者に対して、家庭訪問等によりいじめの状況と今後の対応について十分な説明を行い、理解と指導についての協力を得る。

(4) 外部機関との連携

必要に応じて、大分中央警察署や大分県心とからだの相談支援センター等の外部機関と連携を取りながら早期解決に向けた最善の方法を講じる。犯罪行為として取り扱われるべき事案については、学校法人および大分中央警察署等と連携して対処する。また、必要に応じて大分地方方法務局や大分県中央児童相談所と連携を取りながら、いじめの被害者や加害者への適切な対応について教示を得る。

7. 重大事態への対処

生命、心身又は財産に重大な被害が生

じた疑いや相当の期間学校を欠席することを余儀なくされている疑いがあるときは、次の対処を行う。

(1) 重大事態が発生した旨を学校法人および大分県生活環境部私学振興・青少年課を通じて知事に速やかに報告する。

(2) 学校いじめ調査委員会が行う事実関係を明確にするための調査に協力する。

8. 学校評価における留意事項等

毎年実施している保護者アンケートにいじめ問題に適正に対処しているか学校評価を行う項目に加え、本校の取組みを評価する。

岩田中学校・高等学校 いじめ問題対応組織図

【チェックシート1】

1 いじめられている生徒のサイン

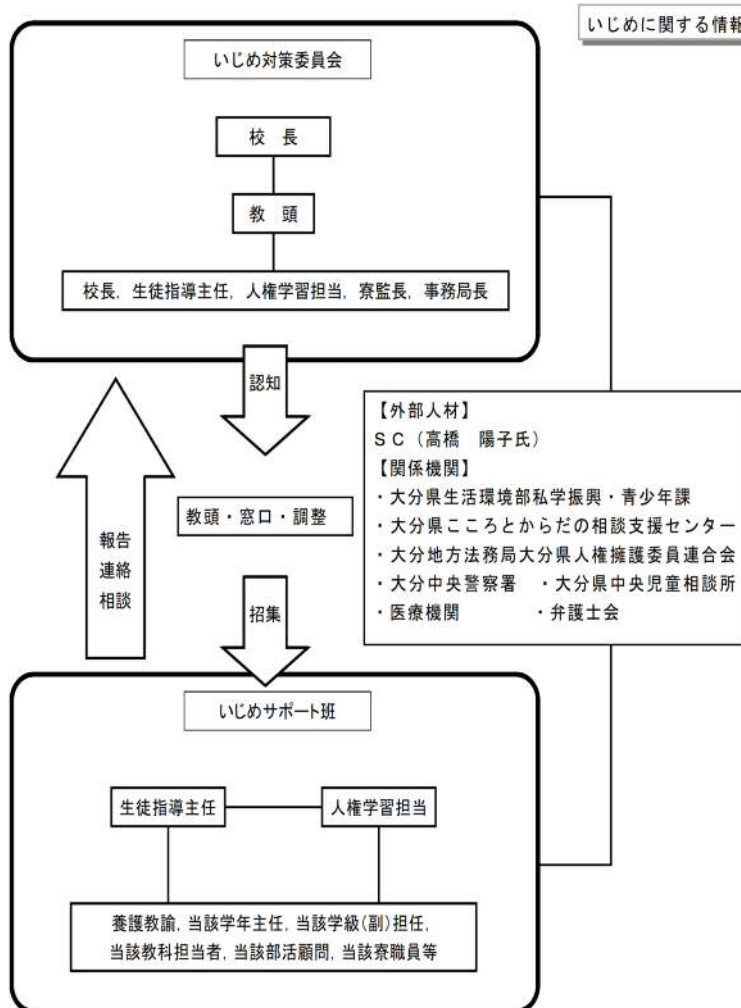
いじめられている生徒は自分から言い出せないことが多い。多くの教員の目で多くの場面で生徒を観察し、小さなサインを見逃さないことが大切である。

場面	サイン
登校時 朝のSHR	☐ 遅刻・欠席が増え、理由を明確に言わない ☐ 教員と視線を合わせず、うつむいている ☐ 体調不良を訴える ☐ 提出物を忘れたり、期限に遅れる ☐ 担任が教室に入室後、遅れて入室してくる
授業中	☐ 保健室・トイレに行くようになる ☐ 教材等の忘れ物が目立つ ☐ 机周りが散乱している ☐ 決められた座席と異なる席に書いている ☐ 教科書・ノートに汚れがある ☐ 突然個人名が出される
休み時間等	☐ 弁当にいたすらをされる ☐ 昼食を教室の自分の席で食べない ☐ 用のない場所にいることが多い ☐ ふざけ合っているが表情がさえない ☐ 衣服が汚れていたりしている ☐ 一人で清掃している
放課後等	☐ 慌てて下校する。または、用もないのに学校に残っている ☐ 持ち物がなくなったり、持ち物にいたすらされる ☐ 一人で部活動の準備、片付けをしている

2 いじめている生徒のサイン

いじめている生徒がいることに気付いたら、積極的に生徒の中に入り、コミュニケーションを増やし、状況を把握する。

サイン
☐ 教室等で仲間同士で集まり、ひそひそ話をしている ☐ ある生徒にだけ、周囲が異常に気を遣っている ☐ 教員が近づくと、不自然に分散したりする ☐ 自己中心的な行動が目立ち、ボスの存在の生徒がいる



毎年、本校の生徒総会は2月に、高3をのぞく中1～高2の生徒で行われます。

11月の生徒会長選挙を経て新生徒会が発足し、総会で今後1年の活動について、各委員会からの議案の説明が行われ、全校で審議を行い、承認されます。

また、各委員会の提案内容については、総会で承認され、その後、学校運営上において問題がない活動を実施していきます。

今年は新型コロナウイルス感染症のため、各クラスで映像を視聴するリモートの形式で総会を実施し、クラスごとで審議を行ってもらいBLENDを使って承認をする流れで行いました。

また各委員会の活動内容も新型コロナウイルス感染症を考慮した内容を一生懸命考えました。まだ先の見通しが十分にできない部分もありますが、新しい岩田を創りあげていくために精一杯頑張ってもらいたいです。

◇執行委員会

【生徒会長】**隈井 健**

【副会長】**宮島 大輝 松本 知里**

【庶務】**内田 雅貴 篠原 幸環**

〈スローガン〉

Energy ～ 皆のエネルギーをひとつに ～

〈活動内容〉

1. 学園祭関係

学園祭の改革や企画、運営などを行う。

2. ボランティア活動

ボランティア委員会を中心として、募金活動など行う。

3. 生徒会活動報告書作成のための情報集約

広報委員会が作成する生徒会活動報告書のために、各委員会の情報を収集する。

〈提案事項〉

1. 遠足の実施

他学年や他クラスとの親睦を深めるため、コロナ対策を行いながら実施を目指す。

2. アンケートの実施

全校生徒の意見を取り入れるため、BLENDで不定期に匿名アンケートを行う。

3. 新型コロナウイルス対策に関する情報発信

保健委員会を中心として、コロナ渦の生活に関連した情報を不定期に教室掲示する。

4. 全校生徒の登下校の指導の補佐

生活委員会を中心として、登下校のルールの確認や事故防止に努める。

◇美化委員会

【委員長】**高野 琉音**

【副委員長】**今吉 蘭人**

〈スローガン〉

cleeeean ～より綺麗な学校へ～

〈活動内容〉

1. 美化クラスマッチの実施

月に1回、掃除中の見回り。採点は委員長と副委員長が抜き打ちで行う。

※採点基準は後日教室掲示をする。

2. ゴミ箱付近にゴミ分別表の掲示

3. 掃除用具の点検

全掃除道具のチェック表を作って、月に2回委員長と副委員長が放課後点検する。

4. ゴミ箱のふきあげ

各学期の最後の週に、学年ごとに各クラスのゴミ箱を掃除する。

5. トイレの消臭ビーズ、保冷剤の交換

3ヶ月ごとに交換する。

6. 月・火・木・金・土のゴミステーションの開放

※水曜は中高で清掃時間が違うことと、渡り廊下のゴミ箱の回収を行うため、ゴミステーションは開放していません。美化委員がいない時は、なるべくゴミ箱が満タンになるまで持ってこないで下さい。後日、各学年のゴミを持ってきてほしい曜日の一覧表を教室掲示します。

7. 同窓会地域清掃への参加

各クラスの美化委員とボランティア委員は、同窓会地域清掃に参加。※日程による。

8. 学園祭3日目のゴミの分別

効率化をはかるため美化委員と生活委員の委員長と副委員長が合同実施。

〈提案事項〉

1. 美化クラスマッチの表彰(美化クラスマッチが実施された場合)

全校朝礼などで表彰する機会を設ける。

2. 長期休暇前の大掃除の実施

全校で落ち葉拾い、草むしりを行う。

※活動内容の1と7については新型コロナウイルスの感染状況により実施を見合わせる場合があります。

◇文化・ICT委員会

【委員長】**佐藤 たまき**

【副委員長】**安部 花蓮**

〈スローガン〉**自助・共助・公助**

〈活動内容〉

1. ベルマーク(インクカートリッジ)の収集

各クラスの文化委員へ回収用の袋を渡し、

2ヶ月に1度回収する。

※回収日は後日教室掲示する。

各クラス集計結果をランキング形式で発表。

2. ベルマークについての情報の配信

ベルマークの仕組みや、交換可能な商品の情報を配信する。

3. 文化的活動

コロナ情勢を見つつ随時判断する。

〈提案事項〉

1. ベルマークの表彰

全校朝礼などで表彰する機会を設ける。

2. ICTの推進

iPadについてのマニュアルブックを作成し、各教室に掲示する。

Teamsでの相談掲示板の開設、管理、運営

・iPadについての質問受付。

3. 文化新聞・ポスターの作成

ベルマークの集計結果の報告。

4. ベルマークで購入できる物の紹介

どんな商品にベルマークがついているかの紹介。

5. 学校や先生方の歴史などの紹介

◇体育委員会

【委員長】**帯刀 勇人**

【副委員長】**野田 紗希**

〈スローガン〉**スポ魂**

〈活動内容〉

1. 体育大会の企画・運営

2. クラスマッチの企画・運営

3. 授業用ビブスの洗濯

夏は1週間に1回、冬は2週間に1回行う。

4. 体育倉庫の掃除・体育用具の整理

毎週土曜日の放課後に行う。

5. 昼休みの体育館の見回り

高2体育委員で行う。

利用していた場合はその場で体育委員から注意。

〈提案事項〉

1. 体育大会の種目の見直し

2. クラスマッチの競技の見直し

3. 各クラス体育委員による体育倉庫の掃除

毎週土曜日の放課後に行う。



◇保健委員会

【委員長】佐藤 大輔

【副委員長】香嶋 いろは

〈スローガン〉**危険・予見・保健！**

〈活動内容〉

1. コロナウイルスの感染予防

①消毒活動

トイレ・自販機・公衆電話をする。

②アルコール、次亜塩素、液体石鹸の補充

③各クラスの消毒・換気の呼びかけ

10分休みと昼休みに各クラスの保健委員が行う。

2. 体育大会・クラスマッチの補助

競技後の消毒、怪我人の救助を行う。

3. 健康診断の補助

準備と後片付け。

〈提案事項〉

1. 新型コロナウイルス対策に関する情報発信

執行委員会と協力して、コロナ渦の生活に関連した情報を提供していく。

◇図書委員会

【委員長】上田 啓太

【副委員長】マーフィー 桜

〈スローガン〉**本楽一輪**

〈活動内容〉

1. 図書室に本を並べる

図書委員の方で選定し新図書室に本を並べる。また並べる本のアンケートを実施。

2. 図書館の管理

各クラスで担当曜日を決め、当番表を各クラスに配布する。

来ない場合は1時間の本棚の整理等の手伝いなどの対応をとる。

未返却や紛失した本を把握する。

3. 要望のある本の購入

図書館前にある用紙に読みたい本の名前を書き、横にある箱に入れてもらい、要望のあった本は購入する。

4. 開館時間

現在図書室が開館できないため開館でき次第報告する。

〈提案事項〉

1. 本の配達制度

図書委員で貸し出せる本のリストを作成し要望のあった本をクラスボックスに届ける。

2. 図書室についての新聞を発行

広報委員のいわちゃん新聞に本や図書館のトピックを掲載。

3. イベントの開催

読書会やビブリオバトルなどを実施予定。開催する都度連絡する。

◇広報委員会

【委員長】吉岡 璃子

【副委員長】矢野 瑞己

〈スローガン〉**一新紀元**

〈活動内容〉

1. 新聞の発行

新聞は1カ月に1回発行する。

学校行事や最近の話題など。

他の委員会の活動状況などを掲載する。

学園祭時期等に臨時号を発行する。

2. 報道部との連携

報道部に協力してもらって、写真などを添付する。

3. 生徒会活動報告書の作成

「生徒会活動報告書」を発行し、執行部や各委員会の公約実現の進捗状況を継続的に報告する。

〈提案事項〉

1. アンケートの実施

新聞の内容をより身近なものにし、多くの人に新聞を読んでもらえるようにするために、新聞の題材をBLENDでアンケートを実施し、広報委員が集計する。

◇ボランティア委員会

【委員長】鎌田 愛加

【副委員長】猪原 美羽

〈スローガン〉**JUST VOLUNTEER IT.**

〈活動内容〉

1. ペットボトルキャップの回収

ペットボトルキャップの集まり具合を視認できる回収ボックスの作成。

2. 書き損じはがきの回収

各クラスに回収ボックスを設置。各クラスのボランティア委員が回収する。

3. 募金活動の実施

UNICEFの「アフリカへの募金活動」(春)への参加。

あしなが学生募金活動への参加。※希望者のみ。

4. 同窓会の地域清掃への参加

希望者のみ。 ※日程による

5. コンタクトケースの回収

各クラスにコンタクトケースを回収しアイシティーに持っていく。

〈提案事項〉

1. ボランティア活動カレンダーの作成

全校生徒にボランティア活動について知ってもらうために、1ヶ月ごとにその月のボランティア活動を示したカレンダーを教室掲示する。

2. 募金活動内容の掲示

募金活動についての詳しい内容を随時教室掲示する。

3. 学校外でのボランティア活動の追加

赤い羽根共同募金や児童福祉施設の手伝いなど。※希望者のみ。

4. “見える化”を実施

ペットボトルキャップやコンタクトケースの集まり具合を視認できる回収ボックスの作成。

上記記入のカレンダーの作成。

◇生活委員会

【委員長】栗林 杏奈

【副委員長】三浦 大和

〈スローガン〉**すげえな岩田**

～素晴らしい元気で笑顔な学校に～

〈活動内容〉

1. 自転車点検

盗難防止のため、ツーロックの徹底。月に1回ツーロック、ステッカーの検査。

2. 駐輪場の整備

駐輪状況改善のため、出入り口の管理、清掃、ライン引き。

3. 登下校指導

状況次第で自転車通学やバス停でのマナーを改善するため、バス停や駐輪場の出入り口で執行委員会と共同で実施。

4. 落とし物新聞の作成

2か月に1回作成し、教室掲示。

5. あいさつ運動

あいさつを習慣付けるため、各クラスのルーム長・副ルーム長・生活委員と協力して実施。

〈提案事項〉

1. 挨拶のイベントを実施

クラスまたは学年対抗で競えるイベントの企画を検討。

2. 生活面における要望を学校と交渉
目安箱を設置。



学園だより

APU・立命館コース 活動報告(1)

APU・立命館コース主任 廣松大和

◆後期プレゼン大会

1月27日(水)、岩田学園4号館大講義室にて2020年度APU講座後期プレゼンテーション大会が開催されました。この大会は、毎週水曜日に2時間枠で実施される授業「APU講座I(4-4),II(5-4)」で学んだ知識、発表スキル、スライド作成技術の集大成です。8月からの約半年間におよぶグループワークを通して、プロジェクトチームとして作業する上で必要なリーダーシップ、積極性、協調性、粘り強さ、といった資質も養われました。各グループのアドバイザーを務めたAPU在学中の学生Teaching Assistantの方々からは、技術面、精神面で多くを学ぶと共に、進路・キャリア相談にのっていただく場面もありました。

長期にわたる探究学習で発表スキルを磨いた点はAPU講座I,IIに共通ですが、それぞれの講座は異なるテーマ設定のもと、異なる到達点を目指して実施されました。加えて今回、5-4は英語での発表を行い、英語科の各科目活動を通して身に付けた英語スキルを存分に披露しました。

以下に、各講座の担当教員よりいただいたコメントと、上位入賞グループ及び個人賞受賞者を掲載します。

【APU講座 I (担当:野田)】

○テーマ

「日本の魅力を紹介」

日本の文化・伝統を一つ取りあげ、その成立過程・歴史を調べ、魅力や課題を研究する。

○目標

テーマに沿って適切な調査・研究を行う。前期プレゼンでの反省をいかし、内容、パワーポイント、発表、すべての面で前期プレゼンを超えることを目標とする。

○講評

前期の講座は、学校休校期間が2か月あり、またコロナの影響でAPUの学生Teaching Assistant(以下、TA)が指導に来ることが出来ず、生徒たちだけでプレゼンを作成しました。後期の講座ではTAの方々の熱心な指導を受けました。プレゼン資料の集め方、パワーポイントの作成方法、まとめかた、参考文献の示し方、発

表の際に気をつけること、身振り手振り・目線の配り方など、丁寧なアドバイスを受け、各班とも格段にレベルアップしたプレゼン発表が出来ました。発表の際には班ごとの工夫が見られ、何より、ほぼ全員が原稿を暗記し、発表内容を自分のものにして聴衆の方を見ながら発表できていたのが印象的でした。全ての班、素晴らしいプレゼン発表だったと思います。1年間でここまで成長できたのは、TAの方々の指導・サポート、班員の協力、それぞれの頑張りの結果です。来年度は英語でのプレゼンとなる予定です。更なる頑張りを期待しています。お疲れ様でした。

【APU講座 II (担当:坂本)】

○テーマ

「別府to the World」

○目標

別府への観光客の減少を解決する方法として、世界の物産が買える商店街を作るという仮定で、各グループにはテーマに沿った物産を世界中から集める店を提案してもらいました。商店街に出店を許可する職員の目線や、旅行に行く観光客の目線の審査員を納得させる魅力ある店作りが目標でした。

○講評

グループA・・・発表タイトルは「Tea Drip Homies」。世界中からお茶を集める専門店でした。同じタイプの店がすでに数多く有り、そことどういう差別化を図るかが問題点でしたが、実演も入り熱心にプレゼンしていました。優秀賞でした。

グループB・・・発表タイトルは「石鹸店 Sapone」。石鹸の店と言うことでグループAと同様、既成の店との差別化が問題点でした。世界中の様々な石鹸を調べて、豊富な品揃えをしていたのが評価されました。最優秀賞を獲得しました。

グループC・・・発表タイトルは「TUTUT FABRICS」。布の店です。世界各国から様々なデザインの柄を集め、それでマスクなどの身近な製品を提案している点が秀逸でした。

グループD・・・発表タイトルは「World Spice」。香辛料を中心としたスパイスの店です。世界中の面白いスパイスを見つけており、料理の提案もしていました。購入してみたいと思える商品が多々ありまし

た。

グループE・・・発表タイトルは「民族楽器店 Avena」。音楽教師の私も知らないような様々な楽器を集めていました。発表中にはそれらの楽器のBGMが流れ、異国情緒を感じました。

APU講座I(4-4)結果

1位 最優秀賞

グループ4「THE KABUKI」

(安部・阿部・岩本・白岩・竹ノ内・友岡・前田)

2位 優秀賞

グループ2「折り紙の世界」

(岩田・江良・甲斐・甲斐・木須・松實・室)

ベストアンサー賞

安部 花蓮さん

ベストクエスチョン賞

薮井 晴朝さん

APU講座II(5-4)結果

1位 最優秀賞

グループB「石鹸店 Sapone」

(下郡・伊豆・上野・三好・柴田・佐藤)

2位 優秀賞

グループA「Tea Drip Homies」

(佐々木・佐久間・安倍・石井・スシル)

ベストアンサー賞

津崎 光太郎さん

ベストクエスチョン賞

佐久間 望さん



1～2月の部活動報告

総務 川元威彦

★剣道部

1/31 全国選抜剣道大会大分県予選

(無観客試合)

男子団体1回戦 岩田 1-3 日田

初太刀を大切に、悔いの残らぬ試合をしようということで臨みました。それぞれが思いを胸に闘ってくれました。

高校2年生の3名はこれで引退します。培った集中力で目標に向け、努力してくれることを望みます。(顧問：阿部)

★バスケットボール部

<高校男子>

2/6～7 令和2年度大分県高等学校新人バスケットボール大会

2回戦 岩田 20 - 0 日田三隈

3回戦 岩田 41 - 79 大分上野丘

2回戦は相手の棄権により不戦勝。3回戦は県3位の大分上野丘への挑戦でした。1試合平均100点とる上野丘を79点に抑えたDFは自信となりました。OFは良いシュートの形がなかなか作れず、流れを引き寄せることが出来ませんでした。この試合でチームの課題が明確になりました。常に「上野丘」をイメージしながら練習に取り組むことで更なるレベルアップを期待しています。

無観客試合で試合観戦できない状況ではありますが、送迎など保護者の方々のサポートに感謝致します。(顧問：野田)

<高校女子>

2/6～7 令和2年度大分県高等学校新人バスケットボール大会

2回戦 岩田 19 - 86 鶴崎

2回戦は強豪鶴崎との一戦。強豪相手に自分たちができることを精一杯やろうと臨みました。体力・スピード・技術の上回る相手に最後まで厳しい戦いを強いられましたが、諦めずボールを追い続けました。結果は大差での敗退となりましたが、強いチームと試合ができたことがよい経験となりました。

またここまでチームを引っ張って来てくれた高2の5名のうち3名が引退となります。これまでチームを支えてくれた3名に感謝です。(顧問：牧野)

ほけんしつから

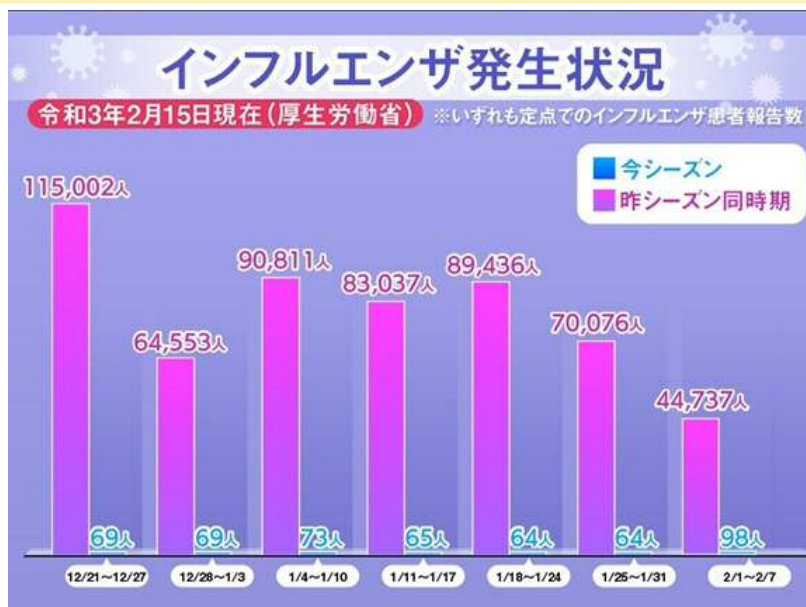
養護教諭 野村めぐみ

今年の冬は・・・

岩田学園でのインフルエンザ罹患者は0名です。インフルエンザ罹患者0は今までに経験したことがありません。厚生労働省の発表でも、全国的に昨年と比べインフルエンザ罹患者が大幅に減少しています。(右図)

国外との往来の減少、受診者の減少など複数の理由があると考えられていますが、多くの人が新型コロナウイルスの感染予防でマスクや手洗いをしていることもひとつの要因とのことです。

岩田学園の生徒・保護者の皆様におかれましては、引き続き、マスク・手洗い・消毒のご協力をお願いいたします。



<図>インフルエンザ発生状況(厚生労働省)

新保健委員が新しい取り組みを始めました！

コロナ感染者の人数やコロナに関連することを、保健室前に掲示しています！

(毎日更新中！)

APU・立命館コース 活動報告 (2)

6年4組担任 早川陽子

◆大学入学前研修

APUコース高3生は、大学入学後にスムーズに学習や生活に入れるように、12月から2月にかけて、様々な研修が行われました。それらの研修の報告をいたします。

■onlineAPUキャンパス訪問デー (12/19、1/23、2/13)

APU進学予定の生徒が参加しました。例年はAPUキャンパスで終日参加するプログラムですが、今年度は感染症対策のため、すべてオンラインでの実施となりました。1回目の訪問デーに参加するにあたっては、事前に「英語力確認テスト」をパソコンで受験し、テストの結果によって入学前課題の内容が設定されました。2回目は、交換留学体験談や同級生・先輩学生との座談会が行われ、3回目は、入学時のプレイスメントテストを見据え、更なる英語力の強化を目的としたセッションが行われました。きめ細かいアドバイスを受け、生徒たちは入学後の姿を思い描き、目標を設定する良い機会とすることができました。

■入学前ガイダンス(1/14)

立命館一環教育部(京都)の右谷浩先生と本校APU・立命館コースの卒業生2名(APU生、立命館大生)に参加して頂き、ガイダ

ンスが実施されました。立命館大生には京都よりオンラインで参加してもらいました。職員の方からは、高校までの学びと、大学での学びの違いについてお話がありました。高校までは「学習」であり、授業で教えられたことを理解・吸収することがメインとなるが、大学での学びは「学修」であり、事前に準備して授業に臨み、事後も自ら学びを深めて身に付けることが求められる。より主体的な学びが重要であるというアドバイスを頂きました。本校卒業生からは、入学後の学校生活について、具体的なアドバイスがありました。立命館大生はコロナ禍で通学がままならないなか、友人ができるか心配していたそうですが、サークル活動やアルバイトを通して、徐々に知り合いが増え、楽しく生活できるようになったとのことでした。大学生活のタイムスケジュールや講義の履修申請、受講するときの注意など、具体的な説明もありました。高3生からは積極的に質問があり、大学生活の不安や疑問点を解消することができたようです。これまでの様々なガイダンスで、英語以外にも、国語は高校までに学習した常用漢字、故事成語、慣用句などの復習と暗記、さらに近現代文学を中心に文学史の復習をしておくこと、社会は日本史や世界史の教科書を読み返して大きな流れを理解しておくこと、新聞を読む習慣を身

に付けておくことなど、具体的なアドバイスを受けています。今回のガイダンスを通して、学習面・生活面において大切なことを再確認し、何をしたいか、何をすべきかを明確にすることができました。

■入学前課題

12月にはすでに、APU・立命館大学ともに入学前課題の案内が届きました。APU進学予定者は「スタディガイド」に沿って、入学前課題や、入学前後に参加するプログラム(希望者が参加)などへの取り組みを進めていきました。細かく提出日が設定されており、生徒は着実に学習を進めることができていたようです。立命館大学進学予定の生徒には、各学部ごとに入学前課題の案内が届きました。各学部の学びの特徴や教育目標にもとづいて、入学までの過ごし方が示され、入学までに読み込んでおいてほしい本やレポート課題の説明がありました。いよいよ始まる大学生活の初めの一步として、生徒たちは真剣に課題に取り組んでいます。



第33回岩田高等学校 卒業証書授与式について

早いもので今年も卒業式の季節となりました。昨年度の高校卒業式は、コロナ禍のために来賓の方も保護者の方も不参加となりましたが、今年度は「**卒業生の保護者の方は、生徒1人につき保護者1名のみの御参加**」となります。なお、来賓の方は今年度も不参加となりました。ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

日時：3月1日(月)午前10時より
場所：本校体育館 ※上履きをご持参下さい
出席者

- ・卒業生(33回生)
- ・卒業生の保護者(生徒1人につき保護者1名)
- ・在校生(高2の1～4組のルーム長と副ルーム長)
- ・教職員



<http://iwata.ed.jp/>

ホームページやブログでCheck!

**能力の差は小さいが
努力の差は大きい**

脚力尽くる時、山更に好し。
輝ける未来へ、全力でサポートします!



February 2021

大分市岩田町1-1-1

学校法人岩田学園

電話 097(558)3007

Fax 097(556)8937

Email iwata@iwata.ed.jp



21世紀の有為な人材を育成する

岩田中学校・高等学校